



広報

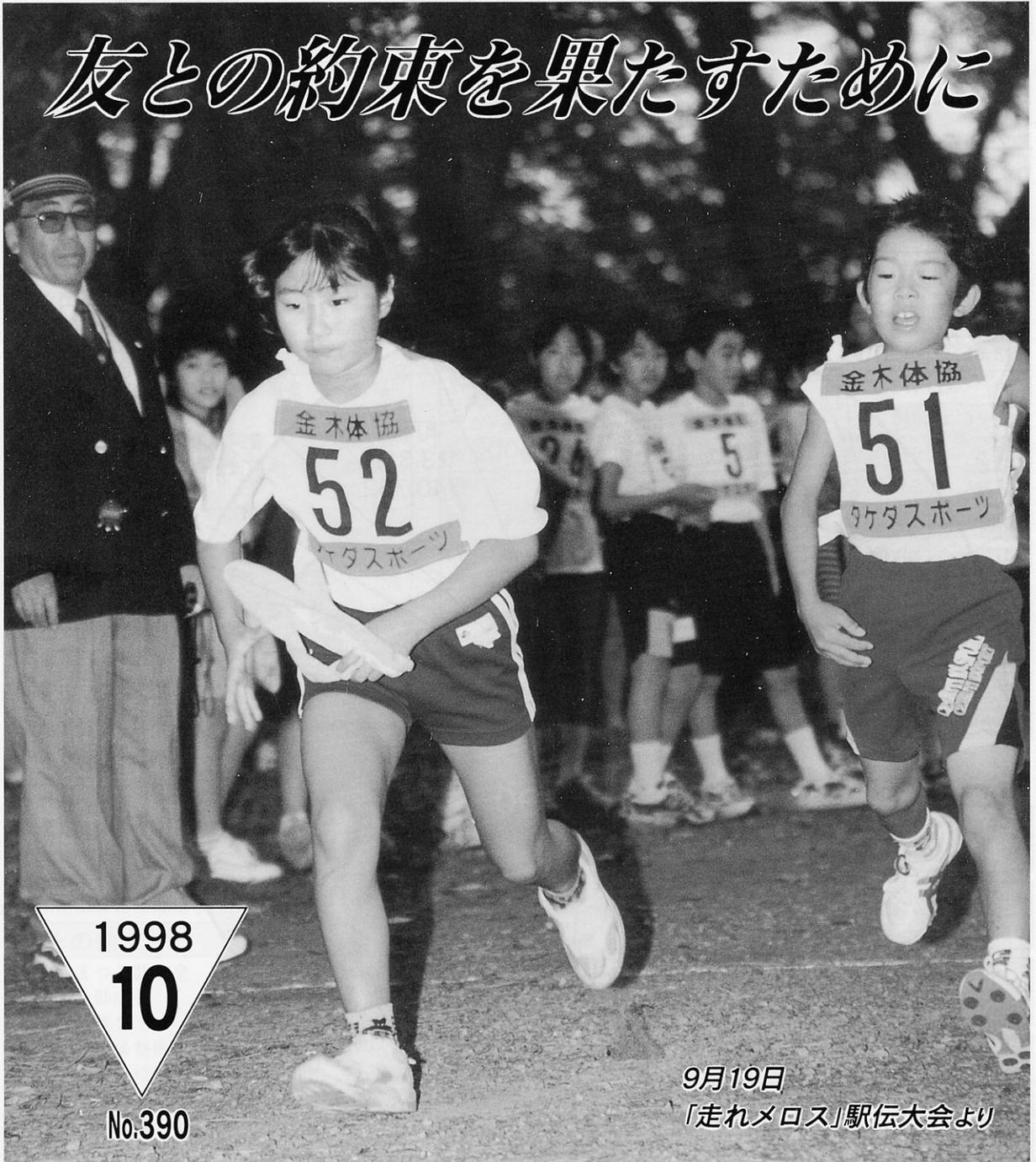
かなぎ

編集と発行

金木町企画室

青森県北津軽郡金木町
大字金木字朝日山323
電話☎2111 内線240

友との約束を果たすために



1998
10

No.390

9月19日

「走れメロス」駅伝大会より

平成9年度 **決 算**

55億6,122万円 の使い道

～ 一般会計 ～

1億4,664万円の黒字決算

九月定例議会で平成九年度一般会計と特別会計の各決算が認定されました。

一般会計の歳入が五五億六、一二二万四、一二三円（対前年度比〇・九六％減）、歳出が五三億九、八五九万二七二円（対前年度比〇・九六％減）とそれぞれ若干の減少を示し、翌年度に繰り越す財源が一、五九九万三、三二〇円あり差引一億四、六六四万五三一円の黒字決算になりました。

皆さんから頂いた税金や国からの地方交付税の使い道等のあらましをお知らせします。

(単位：千円)



③ 広報かなぎ

主な歳出の内訳 (単位：千円)	
◆総務費・消防費	
広報かなぎ印刷費	6,478
行政情報電算処理費	11,235
交通安全対策費	8,975
吉幾三1万人コンサート助成金	14,500
納税貯蓄組合報奨金	15,735
地方バス路線維持補助金	6,183
常備消防費	279,304
◆民生費・衛生費	
町社会福祉協議会補助金	16,315
重度心身障害者医療費助成	18,750
身体障害者更生援護施設事務費	21,693
老人施設措置費	177,747
第1保育所費	75,304
第2保育所費	59,608
第3保育所費	70,402
第4保育所費	51,584
児童手当	14,453
国民健康保険特別会計繰出金	115,118
ガン検診等委託料	18,949
老人保健特別会計繰出金	61,639
西北五環境事務組合負担金	71,693
公立金木病院組合負担金	298,192
◆農林水産業費	
施設野菜生産高度化緊急対策事業	23,789
地域調整推進事業費	57,995
ふるさと農道緊急整備事業費	72,095
中山間地域総合整備事業負担金	19,701
団体営農道整備事業費	78,113
◆土木費	
除雪対策費	88,535
道路新設改良費	41,180
ふるさとづくり町道整備事業費	130,391
住宅管理費	21,258
◆教育費	
金木小学校管理費	60,195
川倉小学校管理費	18,379
嘉瀬小学校管理費	35,178
喜良市小学校管理費	30,467
金木中学校管理費	35,814
金木南中学校管理費	43,594
公民館費	45,341
運動公園整備費	25,808
旧津島邸復元修復工事	106,385
◆その他	
さくらまつり助成金	5,616
夏まつり助成金	2,181
商工会助成金	4,000
イベント広場整備事業費	137,447
観光物産館建設事業費	79,663
災害復旧費	6,261
長期債償還元金	433,394
長期債償還利子	249,529

町民一人当りの税負担

町民税	26,741円
固定資産税	26,545円
軽自動車税	1,342円
町たばこ税	5,700円
計	60,328円

一人当りの金額は、平成10年3月31日現在の町の人口12,279人で割ったものです。

町税内訳

	収入済額	収入未済額
町民税	328,352千円	5,664千円
固定資産税	325,949千円	50,815千円
軽自動車税	16,477千円	304千円
町たばこ税	69,984千円	0千円
計	740,762千円	56,783千円

性質別経費内訳

区分	平成9年度		平成8年度		増減 (千円)	
	決算額 (千円)	構成比 (%)	決算額 (千円)			
人件費	1,361,733	25.2	1,297,740		63,993	
物件費	341,309	6.3	381,160		△39,851	
維持補修費	78,684	1.4	66,280		12,404	
扶助的経費	311,807	5.8	300,821		10,986	
補助的経費	1,023,666	19.0	928,088		95,578	
内訳	一部事務組合負担金	375,038	7.0	363,283		11,755
	その他	648,628	12.0	564,805		83,823
公債費	683,647	12.6	674,011		9,636	
内訳	元利償還金	681,713	12.6	671,170		10,543
	一時借入金利子	1,934	0.0	2,841		△907
積立金	86,627	1.6	71,015		15,612	
投資、出資、貸付金	30,028	0.6	24,770		5,258	
繰出金	177,290	3.3	172,369		4,921	
投資的経費	1,303,799	24.2	1,700,949		△397,150	
内訳	(1)普通建設事業費	1,297,539	24.1	1,695,263		△397,724
	・補助事業費	4,462	0.1	576,261		△571,799
	・単独事業費	1,212,918	22.5	984,386		228,532
	・県営事業費	80,159	1.5	134,616		△54,457
(2)災害復旧事業費	6,260	0.1	5,686		574	
歳出合計	5,398,590	100.0	5,617,203		△218,613	

特別会計

国民健康保険	歳入	1,305,662,157円
	歳出	1,206,823,010円
老人保健	歳入	1,043,058,478円
	歳出	1,043,466,414円
農業集落排水事業	歳入	281,816円
	歳出	280,592円
水道事業	収益的収入	280,249,989円
	収益的支出	287,149,586円
	資本的収入	19,000,000円
	資本的支出	73,737,173円

平成10年度

金木町敬老大会・社会福祉大会 90歳以上の長寿者78名



▲鳴海町長が一人ひとりに顕彰状と記念品を贈りました

平成10年度金木町敬老大会及び金木町社会福祉大会が九月四日、中央公民館で開かれ、関係者約五百人が出席し長寿者らに顕彰状を贈って長寿を祝いました。

式典で、鳴海町長は「金木町を支えてきた皆さんの苦勞

に感謝するとともに、住んでよかつたと思う町づくりを今後も推進していきます」とあいさつ。続いて、百歳以上の長寿者、濱田さきさん（嘉瀬下派立）と葛西つよさん（更生部落）をはじめ、八十五歳以上の長寿者百二十八名と八十八歳以上の長寿者夫婦一組に県顕彰状や、町顕彰状と記念品が鳴海町長から一人ひとりに手渡されました。

その後、作文発表会が行われ、町内の二中学、四小学校の代表者が、日ごろのおいちゃん、おばあちゃんへの思いをつ

づつた作文を朗読し、会場のお年寄りの皆さんが感慨にふけりながら聞き入っていました。

お昼には、町婦人会々員らが真心を込めて作った弁当に舌鼓を打ちながら、町芸能団によるアトラクションを楽しみました。

- 当日の受賞者は次の方々です。
- 古川 タヨ（喜良市川端町）
 - 吉田 ミセ（沢部）
 - 安田 金作（上古町）
 - 阿部 ヒテ（神明町）
 - 三上 藤市（小川町）
 - 大川 ツル（下中柏木）
 - 桑田 ミヨ（喜良市上派立）
 - ▼八十八歳以上長寿者夫婦
 - 今 常五郎（嘉瀬上昭和町）
 - 今 ヤエ（嘉瀬上昭和町）
 - 【町顕彰受賞者】
 - ▼九十歳以上の長寿者
 - 小山内 晴夫（あしの園）
 - 山中 ヤサ（下鍛冶町）
 - 秋元 ヤヨ（あしの園）
 - 黒川 ソネ（野崎）
 - 高松 ちゑ（あしの園）
 - 田中 ミキ（若松町）
 - 三上 長太郎（上小栗崎）
 - 米塚 トミ（新富町）
 - 天坂 イヨ（あしの園）
 - 角田 こと（小川町）
 - 山形 茂之進（栄町）
 - 木村 みせ（上古町）
 - 工藤 キヨ（上昭和町）
 - 田中 みせ（北新町）
 - 小山内 弥右衛門（あしの園）
 - 小野 タミ（あしの園）
 - 秋元 ヨシ（あしの園）
 - 相坂 ハル（蒔田）
 - 川口 コト（蒔田）
 - 夏坂 ちふ（米町）
 - 山中 シデ（車町）
 - 山中 富士男（上鍛冶町）
 - 今 常五郎（上昭和町）
 - 白川 末太郎（あしの園）
 - 今 きぬ（南本町）
 - 濱田 マツ（あしの園）
 - 算用子 イサ（見崎町）
 - 田中 ツヨ（蒔田）
 - 中谷 タヨ（あしの園）
 - 竹内 ミサ（藤枝）
 - 斎藤 イヨ（上宇田野）
 - 鈴木 ヨソ（東町）
 - 泉谷 マン（下宇田野）
 - 外崎 三千男（畑中）
 - 今 チヨ（喜良市川端町）
 - 川口 キシ（新富町）
 - 其田 ソメ（湯の川）
 - 佐々木 キセ（あしの園）
 - 中谷 シサ（上宇田野）
 - 花田 ソワ（上新町）
 - 兼平 きぬ（あしの園）
 - 宮崎 キナ（野崎）
 - 成田 ア子（藤枝）
 - 秋元 しみ（林下）
 - 原田 トメ（若松町）
 - 原田 久治（小川町）
 - 原 甚ヒテ（畑中）
 - 松川 松衛門（あしの園）
 - 伊丸岡 ちよ（東岩見町）
 - 山中 耕一（上古町）

三上直太郎(大東ヶ丘)	藤井ツヨ(若松町)	山中キヨ(新誠町)	今川文四郎(湯の川)	白川兼次郎(嘉瀬下派立)	三上兼次郎(嘉瀬下派立)	渋谷ヨテ(若松町)	大橋喜一郎(林町)	山中定美(後町)	秋元ツヨ(向道)	白川権四郎(沢部)	大谷唯男(あしの園)	桜庭なみ(中山道町)	白川みせ(若松町)	寺山トメヨ(喜良市下派立)	佐々木ツナ(更生部落)	田中ナツ(浦町)	中谷義正(栄町)	中村ハル(朝日町)	▼八十五歳に達する長寿者	今カヨ(喜良市川端町)	津島多七(見崎町)	夏坂徳藏(神明町)	岡田トシ(北本町)	沢田フミ(荻野団地)	原田リン子(藤枝)	板谷ツマ(神明町)	濱田マンコ(上昭和町)	伊東イヨ(三軒町)	原田シナ(下中柏木)	笹木タマ(小川町)			
田中ア子(下中柏木)	大橋繁雄(西岩見町)	原田ヲバ(嘉瀬本町)	工藤ふき(神明町)	木村シモ(湯の川)	尾野正二(寺部)	白川トシエ(沢部)	白川きそ(沢部)	小松久太郎(上古町)	長尾アサ(神明町)	山中新蔵(中派立)	今正志(下町)	鎌田イセ(東町)	長尾タヒ(朝日町)	泉谷糸五郎(下宇田野)	白川きせ(沢部)	阿部鐵雄(昭和町)	逢坂マチ子(荻野団地)	若宮いせ(蒔田)	秋谷キサ(北新町)	桑田長作(西岩見町)	原タセ(嘉瀬上派立)	今サヨ(上柏木)	中村コト(朝日町)	今リヨ(喜良市川端町)	三上正介(喜良市下派立)	田中あさ(新富町)	杉山きよ(下中柏木)	長内金義(美晴町)	中谷幸一(中山道町)	鳴海カ子(上小栗崎)			
田中マツエ(上宇田野)	荒井由吉(向道)	中谷さだ(向道)	中谷金四郎(上宇田野)	泉谷のぶ(上宇田野)	泉谷義正(下宇田野)	中谷たね(栄町)	前田豊一(神原)	中村とし(神原)	中村本真(下柏木町)	原恒五郎(下中柏木)	原いね(下中柏木)	原藤四郎(上中柏木)	宮崎初太郎(野崎)	横山タチエ(野崎)	横山金四郎(野崎)	今カシ(野崎)	今兵八郎(下町)	三上ツナ(喜良市下派立)	三上正介(喜良市下派立)	三上ツナ(喜良市下派立)													

▼八十歳に達する長寿者夫婦

敬老大会終了後お亡くなりになった方々に対しましては、心からご冥福をお祈り申し上げます。

作文発表をした児童・生徒たち



川倉小1年 工藤 愛美さん

「わたしのおじいちゃん
おばあちゃん」



喜良市小4年 成田 亜佑美さん

「おじいちゃんおばあちゃん
ひいおばあちゃん」



嘉瀬小5年 澤田 悠乃さん

「わたしの
おばあちゃん」



金木小4年 大塚 和生くん

「とても元気な
おばあちゃん」



金木中3年 嶋海 麻衣子さん

「偏見からくる差別」



金木南中2年 成田 顕恵さん

「私と家族」

ま ち の び き じ ゅ

◀ 社会福祉の「足」として
寄贈された巡回車



社協に
「福祉巡回車」
～ 県生命保険協会 ～

青森県生命保険協会（会長 櫻井博）が九月二十九日、金木町社会福祉協議会（会長 角田正男）に「福祉巡回車」を寄贈しました。

同協会は、県内の十九の保険会社が会員となっている団体で、社会貢献活動の一環として平成三年より職員からの

募金を基に県内の町村へ福祉巡回車を贈っています。

中央老人福祉センターで行われた寄贈式では、関係者ら三十人が出席して安全祈願の

神事が行われた後、寄贈者を代表し櫻井会長が「在宅福祉活動に役立ててください」とあいさつしました。現在、金木町は五人に一人の割合で高齢化が進んでいます。同社協では「一人暮らしの老人宅、身障者世帯への巡回などに活用したい」と話していました。

交通安全教室

～ 秋の交通安全運動 ～

秋の交通安全運動期間中の九月二十九日、中央公民館で来春、小学校に入学する児童を対象にした交通安全教室が行われました。

町交通安全対策協議会では、子供たちの事故防止と通ルールやマナーを学んでもらいたいと実施したもので、町内



▶ 信号機の「青」を確認し
横断歩道の渡り方を練習

の各保育所から六十人が参加しました。角田助役が「大きなケガにつながる事故に遭わないようによく勉強してください」とあいさつし、さっそく五所川原警察署交通課の婦人警官の指導の下、模擬道路や信号機を使って横断歩道の渡り方や点滅信号時の注意などを学びました。

最後に、アニメの交通安全ビデオを観賞し、改めて事故の危険性を体感していました。

太宰小説作文集「新樹」

～ 嘉瀬小で学習会 ～

金木町太宰会（会長 木下 巽）が発行している太宰小説作文集『新樹』の学習会が九月二十一日、嘉瀬小学校（校長 横濱盛昭）で行われ、五年、六年の児童六十二人が太宰について学びました。

木下会長は「太宰作品の特色はユーモア（お茶目）があり、一方で正義感の強さ、優しさがある。本を読んで感じた“感動”をそのまま表現してほしい。また、題材のタイトルに気をつけ、読後に考えさせられたことを必ず文章に入れてほしい」と、細やかなアドバイスを送り児童らは真剣にメモを取っていました。

太宰作品『新樹の言葉』から引用して『新樹』と名付けられたこの文集は、来春発行される予定です。



▲ 木下会長の話に聞き入り、メモを取る児童たち

スタートの号砲を待つ
第一走者たち



第4回

走れメロス

駅伝大会

川倉小・二連覇

第四回走れメロス駅伝競走大会が九月十九日、芦野公園特設コースで行われ、出場した小学校七チーム、四十二人のランナーが健脚を競い合いました。

駅伝大会は、太宰の遺徳をしのび、太宰文学に関心をもってもらいたいと行われたも

ので、太宰が友情を描いた作品『走れメロス』を大会名に取り入れています。

開会式で、成田教育長がいさつした後、喜良市小の葛西加奈子（六年）さんが「私たちは『走れメロス』の主人公のように、力の限り走り抜くことを誓います」と元氣よく選手宣誓。各小学校から選ばれた選手は、家族や友人らが声援を送る中、タスキに願いを込めて力走していました。その結果、昨年に続き川倉小が大会新記録で二連覇を達成しました。

金木中全校生徒

町内をクリーン作戦

金木中学校（校長 長谷川正夫）の全校生徒二百七十一人と同PTA（会長 佐野一）が十月三日早朝、町内クリーン作戦を実施しました。

同校では、生徒と教職員、父母が一緒になって環境美化活動に寄与したいと毎年行っているもので、金木中学区（金木、川倉、蒔田）全域を

男女五、六人でグループを編成してデレキを手に燃えるゴミ、燃えないゴミと手際よく清掃作業に汗を流しました。

また同校は、今までの活動が認められ、環境美化教育・実戦優良校として社団法人・食品容器環境美化協会から西北地区で唯一、優良校表彰を受けることになりました。

蚊帳で荒馬衣装

喜良市小に寄贈

喜良市西岩見町の桑田ミサオさんがこのほど、手作りの荒馬衣装を喜良市小学校（校長 長谷川俊介）に寄贈しました。

同小学校では、本年度に生涯学習の一環として地元の人クラブの方々に指導員になってもらい、「喜良市の歴史と文化を学ぶ」というテーマで学校のクラブ活動に参画してもらっています。その中の



▲寄贈者の桑田さん（左）と喜ぶ児童3人に長谷川校長

「いろいろな物を提供してくれた人たちに感謝しています。みなさんの温かい気持ちを感じました」と話していました。

贈られた衣装を身につけた児童は「軽くて動きやすい」と満足感たっぷり。この衣装を着た荒馬踊りは十月二十五日、同校百二十周年記念式典で披露されます。

拾ったゴミを分別し、
美化活動に一役



太宰をしのぶ⑥ 金木町「太宰ゆかりの地(5)」

金木町太宰会々長
木下 巽

大正五年四月、太宰さん
こと津島修治は、金木村大
字金木字菅原十九番地にあ
る金木第一尋常小学校に入
学しました。その跡は、現
金木病院駐車場中央付近で
す。太宰会フィールドワー
クの際、中西昭治さんがそ
の場所を確認しています。

それに先立って、大正三
年の学齡前の満五歳ころか
ら、この小学校に通ってい
たということ。津島家
の向かいの金木銀行奥の一
室に、小学校訓導で、五つ
上の姉あいの担任であった
三上やゑ先生が、母と弟と
一緒に間借りして住んでい
ます。当時やゑ先生は、叔
母きゑさんと親しく、始終
津島家に遊びに訪れていた
ということ。母タ子、
修治、叔母きゑ、先生と四
人で写した写真が残ってい
ます。やゑ先生の勧めかは
定かではありませんが、学

校側の特別配慮によって、
タケさんに連れられて、自
宅から五、六分のところに
あった小学校に通ったとい
うことです。教室の一隅に
机と椅子が与えられ、年上
の児童と席を並べて授業を
受けたようです。学校の祝
祭日の式などがあるときは、
井桁いながすの筒袖の着物に、縞
の馬乗り袴ばかまをはき、うしろ
に二本リボンの垂れた水兵
帽をかぶって参列したとい
うことです。学齡前の通学
は、二年間続いたようです
が、入学直前の二ヶ月余を
五所川原に分家した叔母き
ゑの家で過ごしています。

作品『思ひ出』に「やが
て私は故郷の小学校へ入っ
たが、追憶もそれと共に一
変する。(略)同じ頃、叔母
とも別れなければならぬ事
情が起こった。それまでに
叔母の次女は嫁ぎ、三女は
死に、長女は齒醫者の養子

をとつてゐた。叔母はその
長女夫婦と末娘とを連れて、
遠くのまちへ分家したので
ある。私もついて行った。
(略)私は叔母に貰はれた
のだと思つてゐたが、學校
にはひるやうになつたら、

また故郷へ返されたのであ
る。」と、描かれています。
すでに二年前から通つて
いるのですから、小学校へ
の入学には、さしたる感激
も感慨もなかったと思われ
ます。しかし入学当初から、



▲第1尋常小学校跡 現金木病院

こくみんねんきん



出稼ぎと 国民年金

農業、漁業をされている皆
さん、出稼ぎに行かれる際に
は国民年金の届出を忘れない
ようにしましょう。

国民年金の加入者には、農
業、漁業、自営業などの第1
号被保険者、会社員や公務員

の第2号被保険者、第2号被
保険者に扶養されている配偶
者の第3号被保険者の3つの
種類があります。

第1号被保険者の方が出稼
ぎに行き、そこで厚生年金に
加入すると、第2号被保険者
に変わりますから、国民年金
の「種別変更届」の提出が必
要です。

このとき、配偶者の方が健
康保険の被扶養者として認め
られると、国民年金の第3号
被保険者になります。この場
合も「種別変更届」の提出が
必要です。

第3号被保険者になると、
個別に保険料を負担する必要
がなくなります。ただし、第
3号に該当した旨を届出して
いないと、保険料を納めな
かった期間として扱われ、将来
の年金が減額になりますので、
注意してください。

出稼ぎから戻ってきたとき
にも届出が必要です。忘れな
いようにしましょう。

周囲が目を見張るほどの秀才ぶりを発揮し、とくに作文には独自の才能を示したようです。じつさい知識の量ばかりでなく、頭脳の明敏さに、教師も本気で感嘆したということです。

五年生のとき、川口豊三郎先生が担任します。川口先生の「太宰備忘」ノートが研究資料として太宰会に提供されています。それにより、と、学科は各科共優秀で一年から卒業まで首席で通したということです。特に作文がうまく、素材も着想も平凡ではなく、職員室で先生方に読んできかせたということです。「将来の希望」を書かせたアンケートに「文学」と回答したとあります。また生活面では、変装用具を使った劇ごっこ遊びや、先生の教科書に玩具でインクのように見える仕掛けをしたり、いたずらも相当あったようです。級友の話では、喧嘩もときどきやったということです。学年がもつと下のころは、

よく「かちやく(ひっかく)」なので、あだ名は「猫」とつけられたようです。また、こっけい、おどける事も人一倍であったということですが。このように遊びにおいても、企画力・演出力にとんだ、お茶目で健康ないたずらっ子であったということがわかります。

この川口先生の「太宰備忘」ノートは、太宰治研究者宛の下書きとして記録されたものです。小学校時代の貴重な資料として、太宰治年譜に位置づけられています。いづれ会報等に全文を掲載する予定です。このほかのエピソードとして、大橋勇五郎さんが語る「ほし餅」事件が有名です。

治八年五月創立、八幡宮境内に校舎を新築し、金木小学校と称す。同十九年四月、学制改正により金木尋常小学校と改む。同三十五年八月、字菅原十九番地(旧御蔵屋敷)へ移転新築。同三十六年六月、金木第一尋常小学校と改称」とあります。また、金木第二尋常小学校



▲太宰の小学5年生の担任だった川口豊三郎先生が、津島貴重少年の思い出をつづったノート。小学生時代唯一の資料である。

は川倉字七夕野五六、金木第三尋常小学校は蒔田字桑元三が所在地です。大正十一年三月二十三日、六ヶ年間の通信簿はつねに實力通りの「全甲」で首席を通し、男子三十四名、女子二十二名、計五十六名の総代で、金木第一尋常小学校を卒業しました。

この川口先生の「太宰備忘」ノートは、太宰治研究者宛の下書きとして記録されたものです。小学校時代の貴重な資料として、太宰治年譜に位置づけられています。いづれ会報等に全文を掲載する予定です。このほかのエピソードとして、大橋勇五郎さんが語る「ほし餅」事件が有名です。



僕の夢・私の夢
— 第4 保育所 —



しょうへい 小野 勝平 くん
(5才)【喜良市・北本町】

好き嫌いがなくニンジンやピーマンも大丈夫。ウルトラマンに凝っていて、グッズもいっぱいあるんだよ。大きくなったらパン屋さんになって、チョコパン、メロンパンなど、いろんなパンを作ってみんなに食べてもらいたい。小学校に行ったら、野球をやってみたい。



ちあき 津島 千秋 ちゃん
(5才)【喜良市・下派立】

焼き肉が大好きだけど、チーズが苦手。保育所では、友達となわとびしたり元気になっているよ。大きくなったら、かわいいから「もののけ姫」になりたいなあ。泳ぐのが好きなんだけど、今年は早くプールが終わってしまいちょっと残念。

お断り

金木病院カルテ十月号は、都合によりましてお休みさせていただきます。

訂正とお詫び

広報かなぎ八月号に誤りがありましたので訂正してお詫び申し上げます。▼十七ページ「善意」の欄で下山康彦さんが康弘になっていました。

戸籍の窓

九月届出分

おめでとう

近村 大輔 (正人) 金木
 木村 流維 (冬樹) 喜良市
 桑田 沙綾 (恭泰) 金木
 今 秀登 (久) 喜良市

おしあわせに

其田 悟 (俊一) 川倉
 太田 祐子 (勝四郎) 五所川原市
 吉田 正人 (進) 金木
 齋藤 奈津美 (忠幸) 金木
 高坂 武光 (勲) 青森市
 角田 幸子 (匡通) 金木
 古川 純一 (忠義) 喜良市
 平野 佳寿美 (友吉) 福島県

おくやみ

櫛引 勇市 (69才) 嘉瀬
 今 其次 (87才) 喜良市
 松尾 スエ (86才) 金木
 伊丸岡 マツ (82才) 喜良市

澤田 長六 (84才) 金木
 角田 ヤナ (89才) 金木
 古川 角右衛門 (87才) 喜良市
 相川 トキエ (89才) 金木
 澤田 敬三 (73才) 金木
 中谷 三四郎 (79才) 川倉
 田中 ツヨ (92才) 蒔田
 角田 徳太郎 (77才) 金木
 種市 テル (63才) 金木

この欄は、金木町に住所を有している方々を掲載しています。掲載を希望しない方は町民課窓口へ届出の際申し出てください。

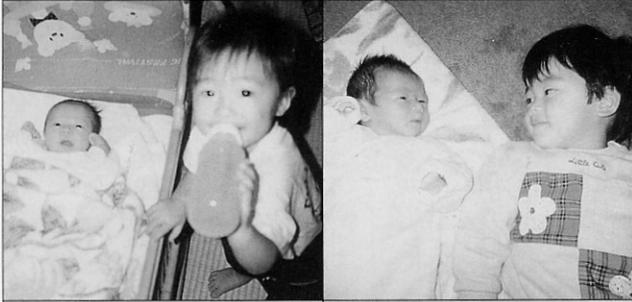
人口と世帯

	9月末現在	前年同月比
男	5,858人	△ 29人
女	6,442人	△ 38人
計	12,300人	△ 67人
世帯数	3,937	1

伝言板

●届いています
 ●九月二十日
 嘉瀬・黒川石油付近路上 (赤紫色の財布)
 ●九月二十五日
 金木警察署前 (18金のネックレス)
 ●九月二十六日
 金木下町・松山呉服店前 (黒の小銭入れ)
 心当たりの方は、金木警察署 落とし物係まで。
 ◎係から
 このコーナーを利用した方は役場企画室まで。

はじめまして



るい 維

健やかに育てほしい (父 冬樹より)

だいすけ 輔

早く大きくなって、一緒に遊ぼうね (姉 菜摘より)



しゅうと 登

お兄ちゃんに負けないで大きく育ててね (母 玉恵より)

さあや 綾

優しく素直に育てしてほしい (母 麻美より)

♥かなぎ公民館ブライダル情報♥ HAPPY Wedding

この度めでたく「かなぎ公民館ブライダル」(企画・進行=事務局「金木町中央公民館」)によりカップルとなられた若いお二人をご紹介します。 /1998.9.13



新郎 白川 満 さん (金木)
 新婦 梶 間 麻 誉 さん (愛知県)

★ご結婚をご予定されている方は、お気軽に金木町中央公民館にご相談ください。すべて事務局が手配いたします。(☎53-3581)
 また、お二人のお名前と結婚記念日を刺しゅうした豪華桐箱入アルバムの特典品等々たくさんの特典があります。